

# 理研会報

行 務 部  
印教理研科研究部  
成田市幸町94の1  
成田小学校

## 新年度を迎えて

○武藤正

理科研究部長 武藤正

はからずも、今回、研究部長という大任を仰せつかりました。単刀直入をいはく離れていまして、多くの不安がありますが、そこは二百九十名の皆様のご指導と協力をおねがいしたいと思います。

### 全員の参加を願って

過去の研究会総会で本年度の事業計画が決定しました。

一、研究会の開催  
二百九十名を知らぬ会費ですか、本年度より小学校低学年部会、

## 二、挨拶

前部長 坂井勇夫

木々の緑、さわやかな風、子どもたちも落ちつき、先生方も、しりこみで充実した日々の実践に励んでおられると伺います。

今回、二年間の理科研究部長の職を履き、武藤先生にバトンタッチいたしました。二年間の研究部の方々の協力を、ご支援に感謝申し上げます。部長を履き、私も理事として研究部の発展に努力して参りますので今後ともよろしくお願ひいたします。

日頃、感じていることを三三三三上げ、ご挨拶にかえます。理科分科会登録者二六〇名、人数に圧倒されそうです。そこで、昨年度から教高研究会のちりちりについて検討を重ね、小学校低学年、

高学年部会、中学校部会と三分部会の形をとって、研究を進めることになりました。

研究会のための、発表のための研究ではなく、日々の実践から生まれた研究、子どもたちの向上に貢献された発表でありたいものです。

そのためには、研究員と、方々にだけまかせるのではなく、すべての先生方が、日頃の授業実践を、向こうを向いて成果を待ち寄ることが必要だと思います。全員参加の教育研究会をのびのびと盛り上げようではありませんか。

明日の子らのために、本年度より小学校低学年部会、高学年、中学校の三分の分散会をもつことになりました。これに体育館を会場に、マイク片手に発表はなくなりそうです。しかし、一分散会一〇〇名を越えるところはまだ残ります。理科研究部の研究は進め、共同研究するところ、

に良きがあり、今後の研究活動は、今までの以上に各部会単位での活動が求められると思います。各校の校内研修と共に、部会での研究活動をするといいこと、大人への中心に効果のよい研究活動を推進してほしいのです。

各部会の教員推進と共に、独自の「実地研修」が計画されていること、ほんとうにいいことだと思います。鮮やかな観察、清潔な山の植物観察、印旛沼の水草観察など、自然を教師自身の眼で見、

師の進歩を期待しております。

二、理科作品展の開催  
すべての学習指導に、考えるという力は不可欠です。特に理科教育では、思考力を高めることは重要な知識を形成する上で大切なことです。日頃の教科書の中で、考える工夫する、

作品を出し合おうではありませんか。子どもを持つ創造力の芽を大切に伸ばしてあげたいと思います。北加田小学校が印刷部の指定を受けて、二年目の研究に入りました。印旛地区の教育推進の拠点校としての役割を担っています。私たちが研究部が協力できることはどんなことでしょうか。皆さんといっしょに考えてみたいこのひとつです。どうぞお考えをお寄せ下さい。

四、会報の発行  
「理研会報」も教えて一二四号となりました。昭和四十五年十一月十日、第一号が発行されて以来、

五、理事  
石井 望(弥富小)  
今井 正臣(和田小)  
因泥 幹夫(上志津小)  
坂井 勇夫(守食小)  
手塚 肇夫(西中)

六、部会部長  
一部会 本郷 茂次(佐倉中)  
二、湯浅 潔(中郷小)  
三、坂野 隆(印面中)  
四、石井 利夫(奥住小)  
五、杉山 栄一(印面中)

七、研究部  
石谷 弘(佐倉小)  
北加田小学校が印刷部の指定を受けて、二年目の研究に入りました。印旛地区の教育推進の拠点校としての役割を担っています。私たちが研究部が協力できることはどんなことでしょうか。皆さんといっしょに考えてみたいこのひとつです。どうぞお考えをお寄せ下さい。

八、部会部長  
一部会 本郷 茂次(佐倉中)  
二、湯浅 潔(中郷小)  
三、坂野 隆(印面中)  
四、石井 利夫(奥住小)  
五、杉山 栄一(印面中)

九、理事  
石井 望(弥富小)  
今井 正臣(和田小)  
因泥 幹夫(上志津小)  
坂井 勇夫(守食小)  
手塚 肇夫(西中)

十、部会部長  
一部会 本郷 茂次(佐倉中)  
二、湯浅 潔(中郷小)  
三、坂野 隆(印面中)  
四、石井 利夫(奥住小)  
五、杉山 栄一(印面中)

十一、研究部  
石谷 弘(佐倉小)  
北加田小学校が印刷部の指定を受けて、二年目の研究に入りました。印旛地区の教育推進の拠点校としての役割を担っています。私たちが研究部が協力できることはどんなことでしょうか。皆さんといっしょに考えてみたいこのひとつです。どうぞお考えをお寄せ下さい。

十二、部会部長  
一部会 本郷 茂次(佐倉中)  
二、湯浅 潔(中郷小)  
三、坂野 隆(印面中)  
四、石井 利夫(奥住小)  
五、杉山 栄一(印面中)

## 印教理研科研究部 栄町立北加田小学校

研究テーマ「ひとりひとりが向学を持ち、夢を理科学習に取り込むにはどうしたらよいか」  
公開期日 昭和五十七年十月二十二日  
。ぜひ、参加ください。

次回理研会報は北加田小学校集です

### 本年度の行事

- 七月 八日 研究員集会
- 七月 八日 役員会
- 九月 七日 研究員集会
- 十月 五日 教研集会
- 十月 九日 理科器具展示会
- 十月 九日 理科作品展
- 十月 十一日 北加田小学校公開研究会(協力)
- 十月 十三日 北加田小学校公開研究会(協力)
- 十一月 十一日 泉祭大会へ参加

なお、理研会報は随時、発行していきます。

今年度、最初の理研会報です。どうぞよろしくお願ひします。二巻、ご希望等、ともしお寄せ下さい。

実践記録等をお寄せ下さい。普通の原稿用紙でもかまいません。四のスペースだけはお考えになりお書き下さい。

皆様、ご指導をお願いします。理科分科会登録者二六〇名、人数に圧倒されそうです。そこで、昨年度から教高研究会のちりちりについて検討を重ね、小学校低学年、

高学年部会、中学校部会と三分部会の形をとって、研究を進めることになりました。研究会のための、発表のための研究ではなく、日々の実践から生まれた研究、子どもたちの向上に貢献された発表でありたいものです。

そのためには、研究員と、方々にだけまかせるのではなく、すべての先生方が、日頃の授業実践を、向こうを向いて成果を待ち寄ることが必要だと思います。全員参加の教育研究会をのびのびと盛り上げようではありませんか。